

l'm home 増刊  
インドアグリーンスタイル

Vol.7  
Autumn  
& Winter

# indoor green style

海外特集 ● from Sweden

## スウェーデンの オフィス環境とデザイン

View From Creator's Eye

Rari Yoshio

indoor green selection

球根植物

indoor green inside the workplace

# 働く場のインドアグリーン

クリエイティブスペースにグリーンを!

DESIGNER × GREEN DESIGNER

選ぶ楽しみがある  
エモーショナルなグリーン。

分身の役割を果たすマスコット・グリーンをプランター・バーラーから、自分の作業スペースへ。それが在社のサインとなる。

**植物のデータ**

酒井氏のマスコット・グリーン/シバノジョウワ (シバの女王)、プランターオレンジ/ソテツ、黄色/サンサベリア ステッキ、緑/ドラセナ コンシンネ、レインボー、白/上からアスバラガス スプレングリー、アガベ アテヌアータ、アスバラガス スプレングリー

酒井俊彦  
SAKAI DESIGN ASSOCIATE

# Toshihiko Sakai

## Green Wise

グリーン・ワイズ

プランターのほとんどがグリーン・ワイズのオリジナル。

### 植物のデータ

プランター・青/ヒロハザミア、黄色/シバノジョウワ(シバの女王)、赤/ガジュマル、オレンジ/ソテツ、床手前/モンステラ、床奥/フィカスアルデシマ、アイビー、プランター・パーラー上左からサンセベリアステッキ、フィロデンドロンセローム、アスパラガススプレングリー、ドラセナコンシンネ、レインボー、ミエミツヤシ、奥台上/ジュウニノマキ(十二の巻)、フィカスベンガレンシス

上/趣の違うグリーンをカラフルなプランターに。プランター・パーラーは、グリーン・ワイズがこの企画に合わせてつくったオリジナル。

下/打ち合わせテーブルに置かれた小さなプランター。テストの違うグリーンを多種用意して、打ち合わせの内容に合わせてセレクトする。

### 植物のデータ

写真上左からプランター白/アガベアテヌアータ、赤/ガジュマル、白/アスパラガススプレングリー 下左から白/コーヒノキ、オレンジ/ジュウニノマキ(十二の巻)、黄色/コウモリラン



## スタッフの分身となるマスコット・グリーン。

酒井俊彦氏が4名のデザイナーとオフィスシェアするワンルーム。

酒井氏がデザインしたポリカーボネートを使ったパーティション兼シェルフが生きるスペースな空間を、グリーン・ワイズがグリーンで彩りました。

癒しの存在以外にも、グリーンにさまざまな機能を持たせたグリーンデザインは、参考となるアイデアばかりです。

### スタッフに寄り添い、デザインの現場を和ませる植物

酒井俊彦氏が4名のデザイナーとシェアするオフィスには、グリーンがほとんどない。だが、さすがはデザイナー。置かないのにもれっきとした理由が。

「直線と規則的なカーブで成立しているこの空間には、有機的なグリーンは合わないんです」と、酒井氏。

今回の企画も「ただ単に飾るだけでは意味がない」と、グリーンとシェアオフィスの関係を掘り下げた上での要望だった。

「大きく分けて各自のデスク、打ち合わせルーム、共有の作業デスクからなるシェアオフィスです。まず、それら三つのスペースをグリーンによる曖昧な境界線で仕切ること考えました。また、小さなプランターは気分に合わせてセレクトできると面白いと。例えば、打ち合わせデスク

に置く植物。カジュアルなミーティングの際には小ぶりの愛らしいグリーンを、ヘビーな打ち合わせの時にはサボテンをセレクトするとか(笑)。選ぶ喜びやちょっとした一時を楽しく演出する効果があり、かつスタッフがデスクに置かれたグリーンをチラッと見ただけで、打ち合わせの深刻度が分かるというわけです。空間を彩るだけでなく、スペース分けといった機能やスタッフ間のコミュニケーションの促進、エモーショナルな要素を含んでいると、シェアオフィスに置かれる植物の必要性がより深まると考えました」と、酒井氏。

それらを請けたグリーン・ワイズの面々は、マスコット・グリーンをコンセプトに据えたコーディネートを実施。各デスクのパーティション兼シェルフの前に置かれたグリーンは、それぞれのデザイナーのマスコット・グリーン。いわば分身だ。外出時には、中央に据え置かれたプランター・

パーラーに置くことにすれば、エントランスから一目で、在社か否かが分かるようになっている。

「デザイナーの方々の個性が伝わるようなテストの違うグリーンを揃えました。また、所定の2カ所だけに置かれるよう、あえて自立しないプランターに。自分の分身ですから、水遣りを忘れることはできないでしょう。責任と愛着を持って、楽しくグリーンを育てられる要素も織り込みました」と、グリーン・ワイズの高須信次氏。また、作業デスクと打ち合わせデスクの間にプランター・パーラーを置くことで、空間の差別化を実現させている。もちろん、打ち合わせデスクの周りには、趣の異なる小さなプランターの数々が。

「訪れる人がグリーンを持ってくるようになれば、コミュニケーションの幅が広がって、グリーンを楽しむ方も深まるでしょう」(高須氏)



## 酒井俊彦

さかいとしひこ ● 1964年高知県生まれ。'87年東京造形大学デザイン学部卒業。'89年〜'91年コーソーデザインスタジオ勤務。オーストラリア滞任後'92年サカイデザインアソシエーツ設立。インダストリアルデザインやプロダクトアイデンティティの構築などを行う。

サカイデザインアソシエーツ  
Tel: 03-5778-3886  
<http://www.sakaidesign.com>



**Jellyfish** ● チューブの側面が発光する新素材を使ったLEDシャンデリア。光源は金属製の本体に内蔵されていて見られない。ほのかに光るチューブは長さ変更も、好きな場所に差し替えることも、螺旋状にすることも可能。光源の形を自由に変えることのできる「新しいシャンデリア」。



**Comprojector** ● 情報ネットワークサービスの開発事業「コムコムプロジェクト」でデザインしたプロジェクター。英国の雑誌『wall paper』に掲載されたところ世界各国から取材依頼が。スビルバーグのドリームワークスからも「次回のSF映画に使用させてくれ」との依頼があったとのこと。



**テディライト** ● 小学館の雑誌「ドラえもん」とのタイアップ企画。ポケットから道具を出す瞬間のポーズの手の形をそのままライトに。子供っぽくなるのがキャラクターグッズの宿命。しかし真っ白なボンチャイナ製で、消灯時には「ドラえもんかも？」と思える程度の佇まいに。



**セレヴィス** ● 電動リクライニング、かつ足もみ機能が付いたフルスペックタイプのマッサージチェア。機能的な要求を満たした上で、室内空間に違和感なく収まるカクチを追求したデザインは、一人掛け用ソファとしてインテリアの一部となる。問い合わせ先/マルタカ 0120-224-027



## グリーン・ワイズ

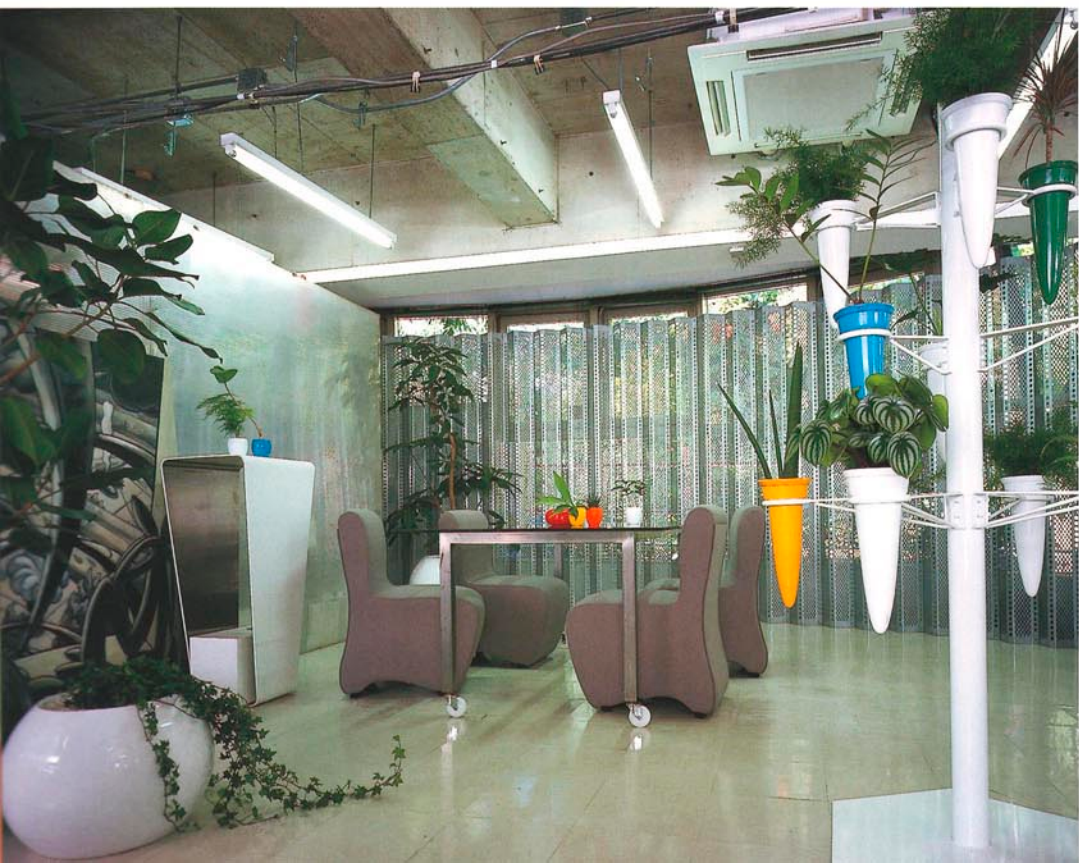
空間緑化事業として企業や商業空間、集合住宅やTV・舞台などの植栽やディスプレイ、リースを行う。「遊・職・住」の空間において「花と緑がもっと身近にある暮らし」を提案。今年の創業百周年を機に移転。9月2日に新社屋に併設する季節料理のレストラン「ASTANA GARDEN」をオープンさせた。

グリーン・ワイズ  
東京都多摩市山王下2-2-2  
Tel: 042-338-0002 (代表) 営業時間: 9:00〜18:00 休日: 土・日曜、祝日



施工例  
玉川高島屋S・C 南館7階屋上庭園  
「サウスガーデン」  
東京都世田谷区玉川3-17-1  
Tel: 03-3709-2222 (代表)  
<http://www.tamagawa-sc.com>

Toshihiko Sakai  
X  
Green Wise



打ち合わせ用のチェアは、酒井氏がデザインした「YOKO」。インタビューに来た雑誌記者が、あまりの座り心地の良さに感激して購入したこともあるとのこと。

### 植物のデータ

床左から/フィカス アルテシマ、アイビー、プランター・バーラー上段プランター白/アスバラガス スプレングリー、緑/ドラセナ コンシンネレインボー、中段青/ヒロハザミア、白/フィロデンドロン セローム、下段左から黄色/サンセベリア ステッキ、白/ペペロミア アルギレア、白/アスバラガス スプレングリー、白/アガベ アテヌアータ、左上白/アスバラガス ブルモササナス、青/フィカス ベンガレンシス、床奥/ツビダナス、テーブル上黄色/コウモリラン、オレンジ/ジュウニノマキ (十二の巻)、白/コーヒノキ